

ひらかたNPOフェスタ



9/9
(日)
開催

ひらかたNPOフェスタ2018



9/9
(日)
開催

ひらかたNPOフェスタ2018

枚方よいとこ 来て!見て!知って!



今年は、6月の大阪北部地震、豪雨、台風と災害が続ぎ、大ホールが使えなくなったり、直前の大雨・暴風の警報もあり、最後まで開催するか否かで迷いました。結果、直前に出展キャンセルが相次ぎ、当日午前中まで雨は残りましたが、「元気な枚方を取り戻そう」という合言葉をもとに、時間を繰り上げながら、最後まで開催することができました。

これも参加団体を中心に、4月から実行委員会を立ち上げ、エリアごとに話し合いをしてきたことで、急な変更に対しても、柔軟にかつ協力的に動いていただいたからだと思います。

NPOや市民活動団体だけでなく、行政や企業、大学からの参加もあり、51団体が、6ステージ、50出展のプログラムを行い、足元が悪い中、約3500人の来場者にお越しいただき、大変会場が賑わいました。

今回、被災した方も多くおられる中、枚方には、こんなに元気な人たちが、活気のある団体がいるんだと、改めて実感した一日でした。



高橋 佳子の フェスタ見てある記 2018年版

ひらかた
NPOフェスタ

バルーンの犬など持った子どもたちも多く、活気にあふれたNPOフェスタ。午前中、市民会館内を歩きました。

レディス枚方21のバザーには長い列。今年は、ステイックシアターもバザーを開催し、午後は、10分程の演劇発表も。京阪総合カウンスリングのカウンセリングスキル講座の後は、健康ライフサポート協会のストレッチ講座。天の川七夕まつりの会と天の川・交野ヶ原日本遺産プロジェクトのコラボ企画では、講師に京都学園大学教授・佐々木高弘氏を招き、七夕歴史講演会が行われていました。

展示コーナーでは、黎明塾・百済寺を考える会が絵や写真をうまくアレンジして、枚方八景を、イラク平和テレビ局 in Japan an ひらかたは、フクシマ・オキナワなど。リハビリ工房のソウタシエコードやビーズのアクセサリーはどれも魅力的です。

参加型では、ビジョンヨガ枚方の出産準備セミナーにフレッシュなカップルが何組か。カムインファミリーケアは、英語教室を開いているキャサリンさんが、英語でモンブランケーキの工作指導。料理室で子どもたちにも大人気なのは、ひらかた子ども食堂ファンクラブの簡単ピザ作り。餃子の皮にいろいろのせて、スイーツ風、おつまみ風にして、オープンでパリッと焼きます。大人向けには、余っている食品を集めて必要な所へ配る「フードドライブ」に寄附した人がもらえる「ありがとう券」で、おいしいコーヒーが振舞われました。

(文・高橋佳子)



笑顔はためく「オリジナル万国旗」

「あつた！ わたしの描いた絵、あそこにある！」 自分の描いた絵を指さしながら、はずんだ声で、お母さんに呼びかける女の子。自分の「オリジナル万国旗」をバックに、はじける笑顔で「はい、チーズ！」

「ひらかたNPOフェスタ2018」の会場を、手作りの作品で飾りたい。そんな思いから始まった「オリジナル万国旗」づくり。事前に講座に集まってもらったり、団体の皆さんに、30センチ四方の白い布に、自由に絵を描いてもらいました。撥水性の布に、油性のクレヨンで描かれた色とりどりの21枚の絵。家族や友だち、自分の顔に、お花、動物、虹、食べ物と、どれも個性豊かで、1枚として同じ作品はありません。素敵に仕上がった作品を1枚ずつつろってつなげて、会場中に飾り付けました。



あちこちに飾られた「オリジナル万国旗」は、普通の万国旗以上に華やかで、かわいらしく、思わず足をとめて見入ってくれている方も多かったです。あいにくの雨模様でしたが、秋空に笑顔がはためき、フェスタを盛り上げました。
(文・中野 ともみ)



「オリジナル万国旗づくり」協力

- * サプリ村野学校(7/8)
- * 広場さぶり(8/13)
- * きさいちチアリーディングクラブ RAINBOWS
- * ひまわり畑子ども食堂
- * いこい
- * サプリ村野ネットワークルーム



7/15・7/22
9/22
全3回 開催

みんなの防災連続講座

3年目となる「みんなの防災」。今回は、1回目に「水害や河川の事故防止を学ぼう」、2回目に「クローズドで防災を考えよう」を行いました。3回目は、大雨警報により中止になりましたが、後日、希望者で集まり「HUG（避難所運営ゲーム）で避難所を知ろう」を実施。ちょうど6月の地震と7月の豪雨の直後だったので関心も高く、真剣に、かつ積極的に取り組んでいました。また、参加者の世代も幅広がったことで、いろんな意見を聞くことができ、交流できたのも良かったようです。



体験しポ

第1回「水害や河川の事故防止を学ぼう」に参加しました。講師はJoinネイチャースクールの山口遼太さん。まず、川遊びにはライフジャケットが必須。試着すると、見かけより随分軽く快適。かがとが固定できないサンダルはだめ。すぐ脱げて流されやすく、それを追って事故になりやすい。万一自分が流されたら、流れる方向を向き、両足を挙げ、両手を広げる。助ける人は慌てて飛び込まないこと。ロープ、ペットボトルを投げるなど、具体的なアドバイスが続々。河川レンジャーでもある講師に、川の魅力と怖さを教わりました。水害についても、わが家のハザードマップを調べておき、台風や近くの川の水位情報をこまめにチェックすること。参加者は、小学生3人を連れてこ一家、地域の防災担当者などにぎやかで、たになる講座でした。

(文・高橋 佳子)



7/13
(金)
開催

ママたちの防災

熊本地震以来、熊本の地域のママたちと交流のあるリヴ・エナジーが講師を務め、どんな環境下になっても、子どもたちが生活できるように、さまざまな観点から、ママたちが防災準備をするための講座を行いました。初めに、熊本のママたちから学んだ災害時の心構えや情報を得られるサイトなどの紹介があり、お母さんと子どもがストレス解消できる歌や遊びなども紹介されました。最後に、ワークシヨップが行われ、災害時の不安や困りごとなどを、参加したママたちが話し始めると、地震を体験した時の恐怖や、子どもを守らなければならない責任感で、涙を流しているママもいらっしゃいました。初めての試みでしたが、いろいろ要望もあつたので、第2弾を計画中です。



7/17(火),30(月) マタニティ&ベビーカフェ
《ビジョンヨガ枚方》



7/31,8/7,14,21(各火)
マンガ・アニメ・イラスト体験教室
《みんなでつくる学校とれぶりんか》

サプリ村野学校は、毎月の広報ひらかたや、当センターのHPに、講座の案内がありますので、是非チェックして、ご参加ください。なお、メンバーや会員を増やしたい実施団体も、募集中です。
(電話・072・805・3537)

サプリ村野学校



大変だった災害を振り返り 今一度、防災・減災準備を



6月大阪北部地震と7月豪雨

平成30年の前半は大きな災害が続きました。6月18日、午前7時58分頃、大阪北部を震源地とする地震が発生し、枚方市は、震度6弱を観測しました。一部水が濁ったり、ガスも自動停止しましたが、電気など、ライフラインが、ほぼ止まらなかったことが幸いでした。

ただし、発生が朝の通勤時だったので、京阪・JRなど、電車の中で閉じ込められた人も多く、駅には、夕方まで人があふれていました。携帯電話を含め、電話もほとんどつながらなかったため、LINEやTwitter等のSNSで、家族や友人の安否を確認をした方も多かったと思います。

また、7月には、台風7号による豪雨が降り、雨漏りによって、屋根瓦の落下や壁にヒビなど、地震の被害に初めて気づく方も多く、ブルーシートで覆う家が一気に増えました。

9月の台風と大阪の被害状況

9月4日には、台風21号が、25年ぶりに非常に強い勢力で日本に上陸し、枚方市でも大きな被害が出ました。木が根こそぎ倒れたり、信号機が、あちこちに向きを変え、点滅状態だったり、街のあちこちで、危険な状況が見られました。

全国では、7月豪雨で大きな被害を受けた広島、岡山、愛媛や、台風21号直後の北海道胆振東部地震など、災害が続き、日本全国、被災地でないところの方が少なくないくらいです。災害が次々発生すると、どんどん報道されなくなりますが、枚方市以外にも、大阪府下の市町村では、地震以来、重複被害を受けており、まだまだ復旧できていないところが多く残っています。



家の中や周りを点検

まだまだ復旧中ではありませんが、災害は待つてくれません。事前に対策しておけば、被害を減らすこともできます。今、できることをしていきましょう。

寝室の注意

【暗闇でも対応できる準備を】
胸の位置より高い家具タンスや本棚などを置かない。または固定する。向きを変える。
* 割れもの(湯呑みなど)を置かない。
* 通路を確保しておく。靴などを置いておく。

台所の注意

【飛び出してこない工夫を】
* 包丁などの刃物が飛び出さないように収納する。
* 冷蔵庫、食器棚などの扉が開かないようにする。
* 冷蔵庫、食器棚などの扉が開かないようにする。

家の周りの注意

【見えないところの対策を】
* 大雨に備えて、側溝を掃除しておく。
* ハザードマップなどで、土砂災害の危険性がないか確認する。安全な避難経路の確認をする。

備蓄品、非常持出し品の準備

災害が発生したら、ライフラインが止まる、店が閉まることを想定して備蓄品を準備しましょう。

備蓄品

【家族の人数×7日分の準備を】
* 一人一日3リットルの水が必要。飲料水だけでなく、洗たく、トイレなどの生活用水も必要。

* 食料は、すぐに食べられる「非常食」の常備と、いつも食べ慣れているものを、消費しながら買い足していく方法だと無理なく準備できます。

避難所では、水と食料は常備されていないことが多いので、忘れず準備しておきましょう。

非常持出し品

【複数箇所に分けて必要最小限に】
* 常に携帯しているもの(メガネ、入れ歯、携帯電話など)と、避難先で1日程度過ごすのに必要なもの(常備薬、充電器、ラジオ、水、子どものお菓子やミルクなど)を両手が空くバッグに用意しましょう。



留守家庭児童会室 市民参画事業



今年、7月23日から8月24日までの夏休み期間、枚方市内45の留守家庭児童会室で、初参加3団体を含む20団体が、27のプログラムを実施しました。今年、夏は暑く、気温の関係で、外遊びができない時が多かったようで、どの児童会室でも元気いっぱいに発散する子どもたちが多かったです。



イラストだより



オンフルールはフランスのノルマンディー地方にある小さな港町で、前からいちど訪れてみたいと思っていましたが、今年の6月にパリに滞在していた時に、やっと実現しました。

国鉄がストをしていたので、バスのツアーにしようと思ったところ、オンフルールだけではなく、仕方なしにモン・サン・ミッシェルがメインのコースに。結果は？期待が大きかっただけに、オンフルールはちょっとがっかり。そのかわり、モン・サン・ミッシェルはなかなか良かったです。旅行は人生に似ているかも。(笑)

(イラスト・文/向井 範雄)



NPOフェスタ
オフショット



参 笑 楽



編集後記

6月の地震以降、いろんなことがあった夏。今、NPOや市民活動は何ができるのか？何を求められているのか？災害に関してだけでなく、地域や社会に求められてこそそのNPOであり市民活動、大きなことはできなくても、困っている人に寄り添った活動をしていきたい。そんなことを思いながらの「ひらかたNPOフェスタ」でした。

(編集者・S)



【編集・発行】

特定非営利活動法人 ひらかた市民活動支援センター
〒573-0042
大阪府枚方市村野西町5-1サブ1村野内
TEL: 072-805-3537 / FAX: 072-805-3532
Eメール: info@hirakatanpo-c.net
http://www.hirakatanpo-c.net/



特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター
@hiracen

ひらせん(ひらかた市民活動支援センター)
@hiracen_info